



平成26年2月25日

各 位

大阪市北区曽根崎新地二丁目1番23号  
株 式 会 社 ア イ ル  
代 表 取 締 役 社 長 岩 本 哲 夫  
(JASDAQ・コード3854)

問い合わせ先 取締役 経営管理本部長 戸田泰裕  
電 話 番 号 06-4798-1170(代表)  
U R L <http://www.ill.co.jp>

### 平成26年7月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年9月6日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成26年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年8月1日～平成26年1月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,879	46	51	17	2円99銭
今 回 修 正 予 想 (B)	2,895	158	165	74	13円04銭
増 減 額 (B-A)	16	112	114	57	
増 減 率 (%)	0.6%	245.2%	223.6%	336.5%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年7月期第2四半期)	2,507	62	66	44	15円65銭

#### 2. 修正の理由

当期における情報サービス業界は、ソフトウェア投資に関しては、緩やかに増加しているものの、企業のソフトウェア投資に関する期待は高レベルとなっており、一層有益な提案が求められる状況にあります。

このような環境下、売上高につきましては、システムソリューション事業で、パッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を業種別に継続しました。またWebソリューション事業における、複数ネットショッパー一元管理サービス「CROSS MALL (クロスモール)」等のWeb商材を、「アラジンオフィス」と連携させた独自戦略である「CROSS-OVER シナジー」効果により受注実績の好調が持続し、売上実績も堅調に推移しました。

利益につきましても、システム開発工数の効率化とストック型となるビジネス商材の売上構成比が高まる

ことで利益率が向上し計画を上回ることとなりました。

以上のことから、平成26年7月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回予想に比べ、営業利益は158百万円、経常利益は165百万円、四半期純利益は74百万円と上方修正することとなりました。

なお、平成26年7月期通期の業績予想につきましては、前回予想から変更はありません。

※ 上記の予想は現時点での入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上